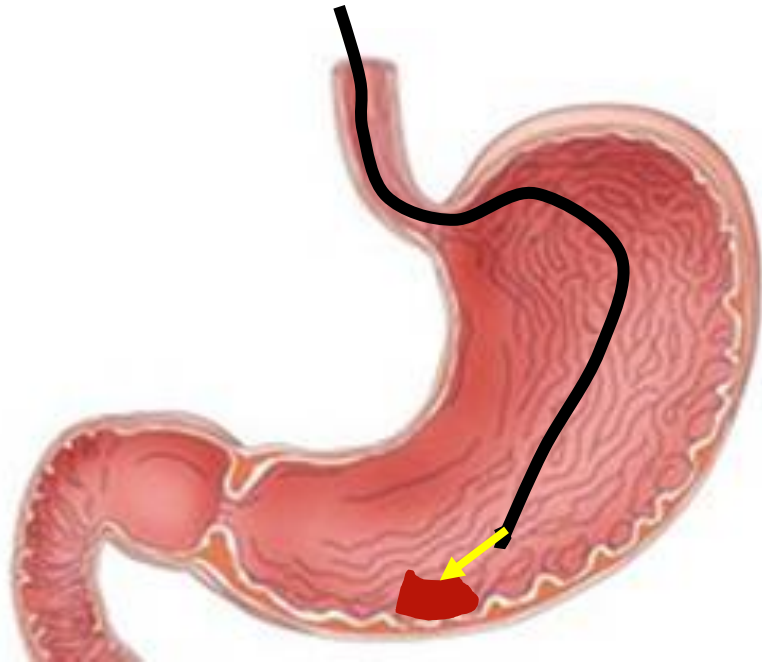


診断

# 疑わしい部分を生検して診断する

## 胃内視鏡検査



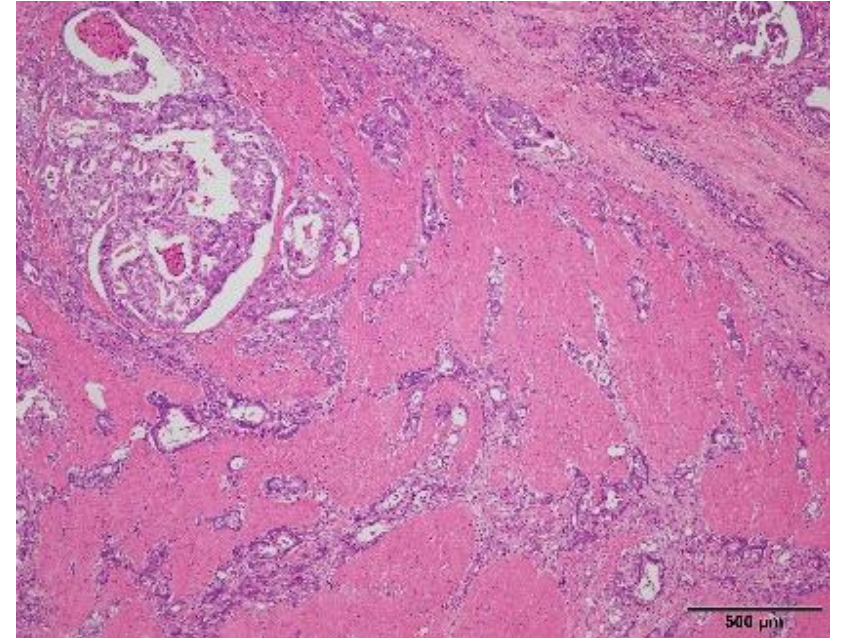
内視鏡で胃の内部を観察し、  
疑わしい場所の組織を採取する  
(生検)

## 病理検査



採取した組織に  
癌細胞があるか  
を顕微鏡で調べる

## 確定診断

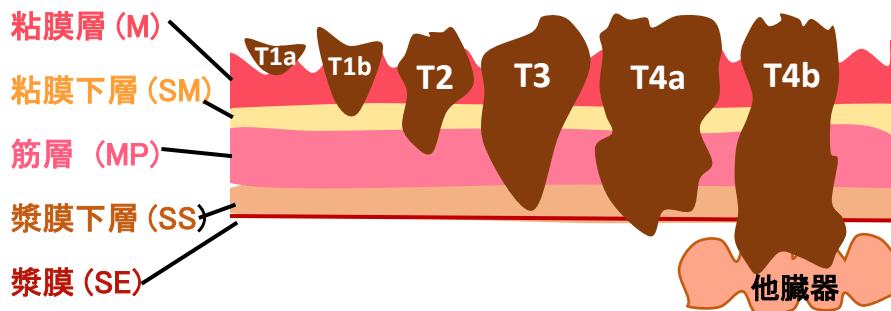
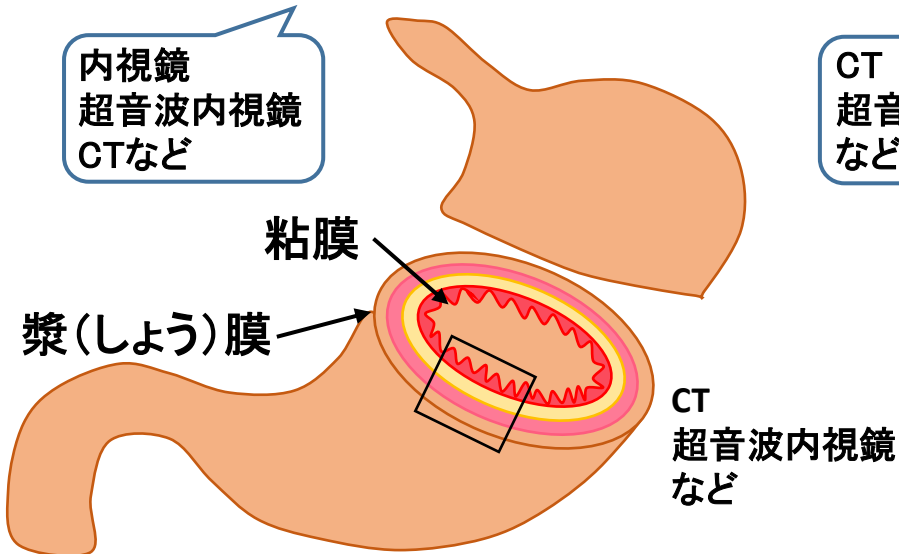


癌細胞の存在が確認されれば  
診断が確定する

# CTなどの検査を行い癌の広がりを調べる

## T(深達度)

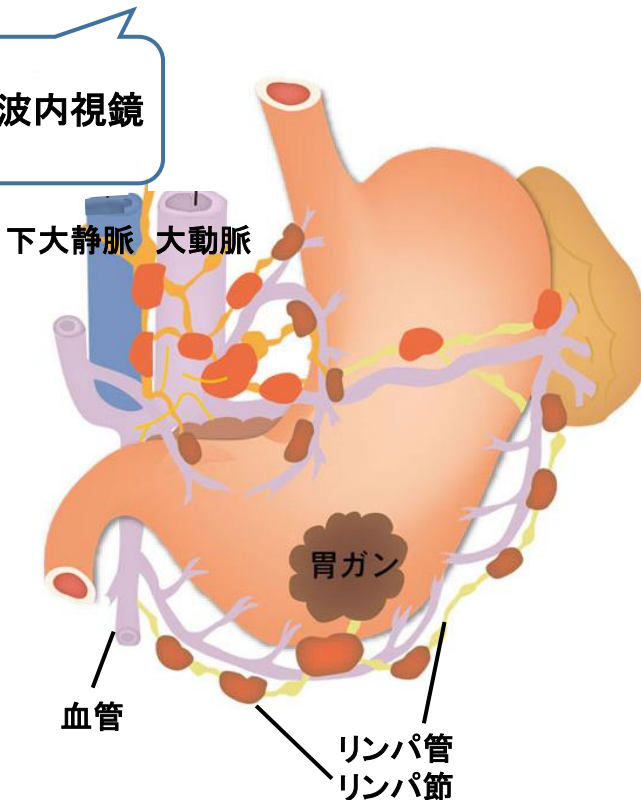
内視鏡  
超音波内視鏡  
CTなど



癌は胃の内側を覆う粘膜から発生し、  
進行するに従って壁の深い層に入り込む

## N(リンパ節転移)

CT  
超音波内視鏡  
など

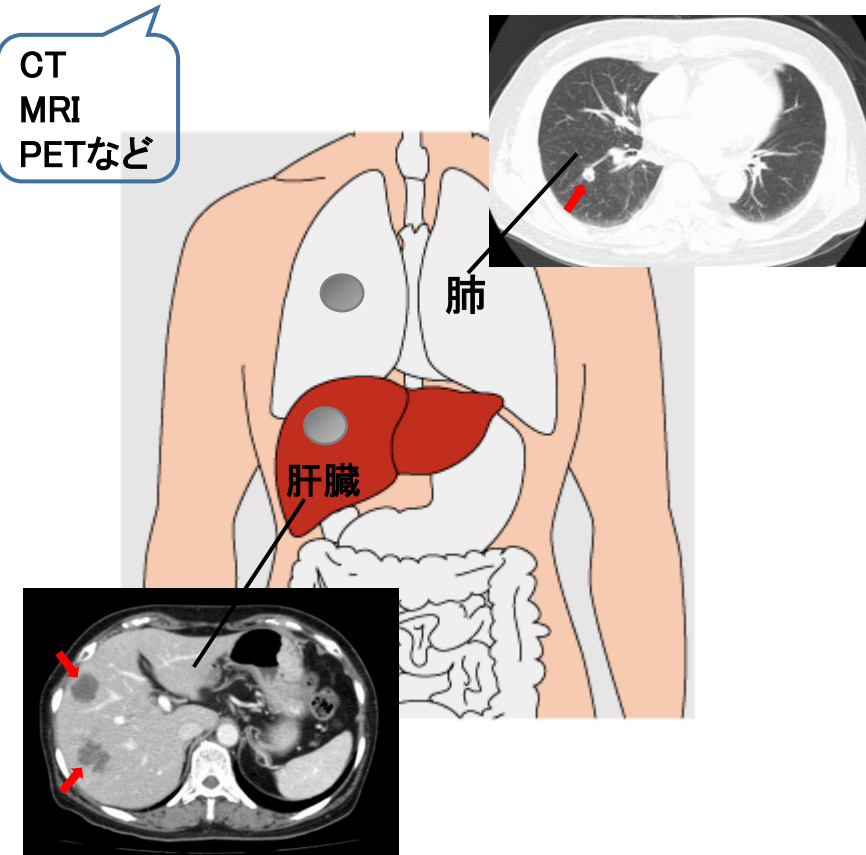


癌がリンパ管に入り込んで移動すると  
リンパ節転移を起こす

- N0:リンパ節転移なし
- N1:1-2個の転移
- N2:3-5個の転移
- N3:7個以上の転移

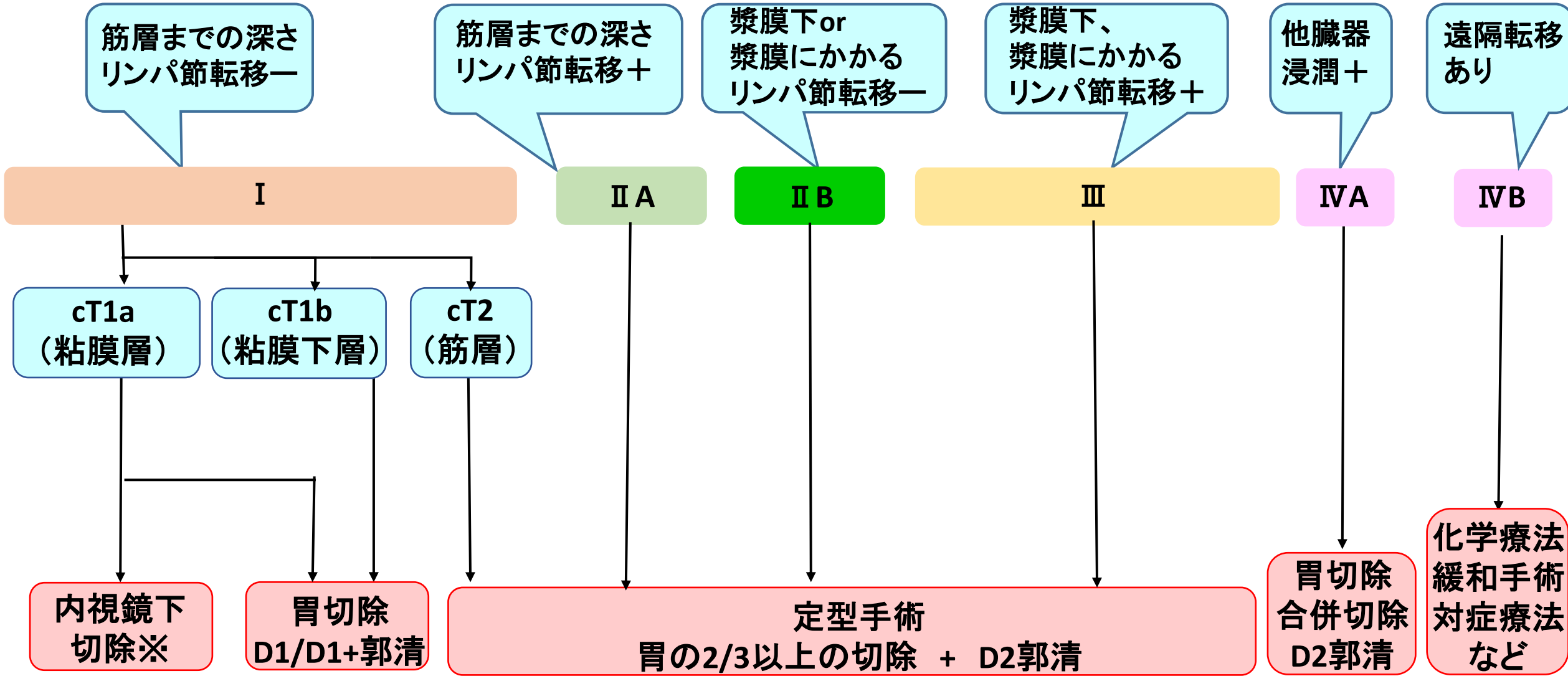
## M(遠隔転移)

CT  
MRI  
PETなど



- 血行性転移(肝臓や肺、骨など)
- 遠隔リンパ節転移
- 腹膜播種(種をまくように腹腔内に広がる)
- M0:遠隔転移あり
- M1:遠隔転移なし

# 胃癌治療ガイドラインで推奨される治療方法



※粘膜内癌の内視鏡下切除の適応: ①分化型、潰瘍なし ②3cm以下、分化型、潰瘍あり ③2cm以下、未分化癌、潰瘍なしのいずれかを満たすもの

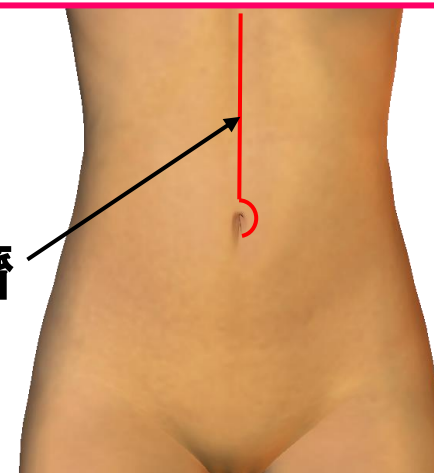
手術治療

# 腹腔内への到達法 — 開腹と腹腔鏡手術 — — 到達方法の違いのみで腹腔内で行う操作は同じ —

## 開腹手術の歴史

- 1881年 ドイツ人のビルロート(ウィーン大学医学部教授)が胃切除に成功
- 1897年 東京大学の近藤次繁がわが国で初めての胃切除に成功

皮膚切開: みぞおちから臍  
または臍下



腹腔鏡(カメラ)

ポート  
(器具を出し入れする筒)

専用の鉗子等

皮膚を各1cmほど切開し  
ポートを留置

腹腔内に炭酸ガスを入れて  
ふくらませる(気腹)

腹腔鏡で腹腔内の様子を  
画面に映しながら操作  
(ポートの数や場所を行う  
手術の内容によって異なる)

## 腹腔鏡下手術の歴史

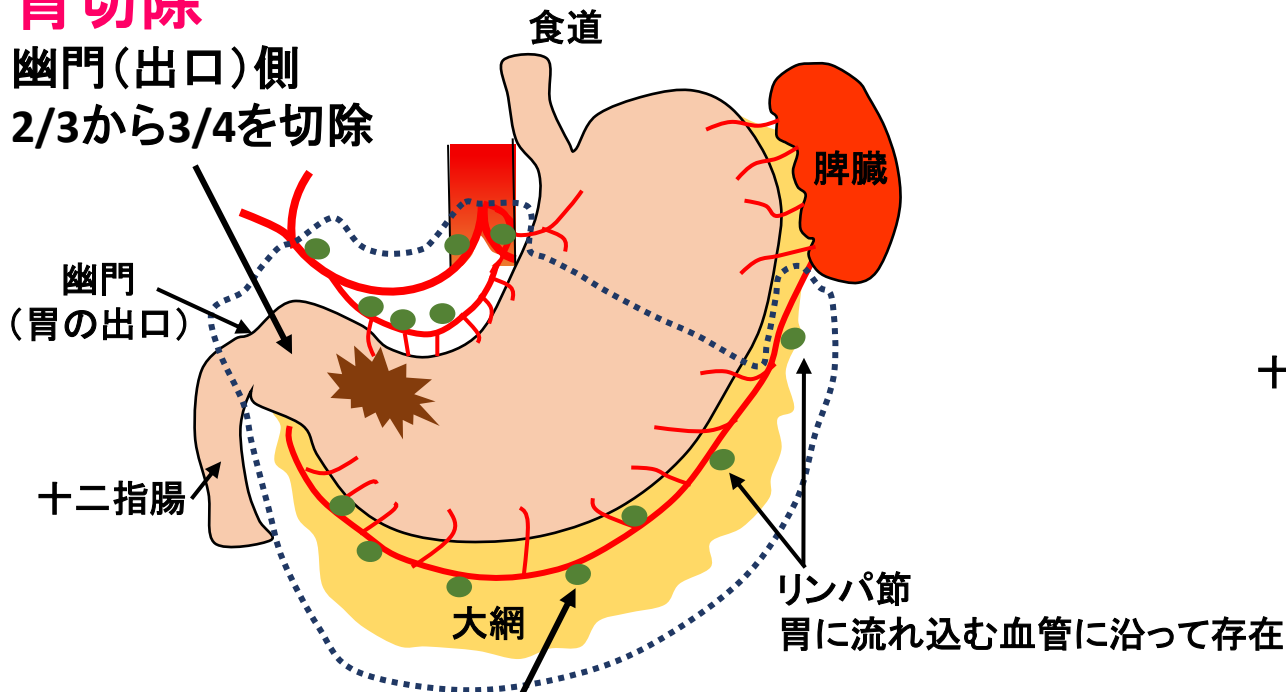
- 1987年 モレ(フランス)が腹腔鏡下胆嚢摘出術を報告
- 1990年 山川達郎が本邦初の腹腔鏡下胆嚢摘出術
- 1991年 ヤコブスが腹腔鏡下大腸切除を紹介
- 1993年 渡邊らが腹腔鏡下大腸切除を導入

# 胃癌の手術：幽門側胃切除

胃の中下部の癌に対して行う。胃癌に対して最も多く行われている手術方法。

## 胃切除

幽門(出口)側  
2/3から3/4を切除

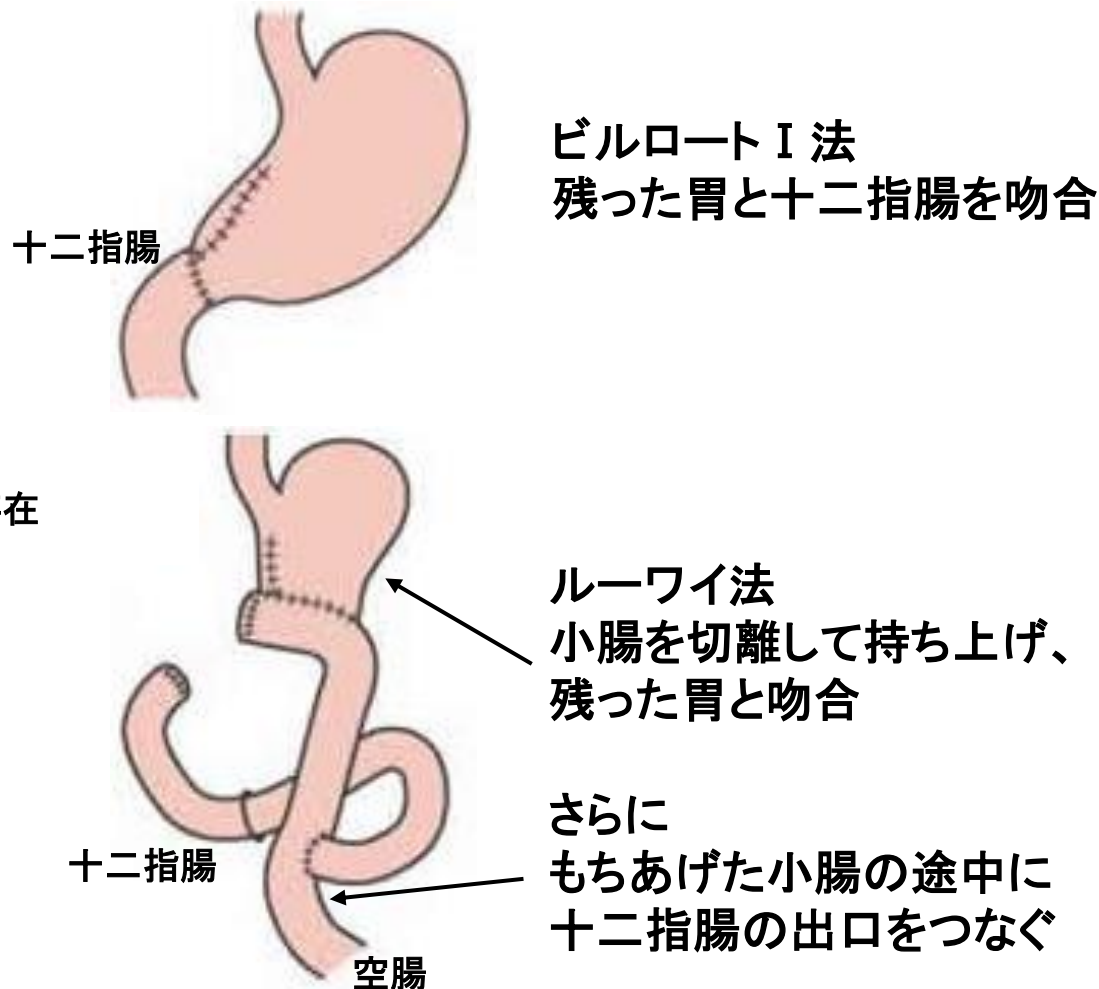


## リンパ節郭清

癌が転移している危険がある  
胃周囲のリンパ節を、脂肪などの周囲組織  
とともに一塊として切除する  
ステージによって胃からどの位離れたリンパ節まで  
郭清するかが決まる

## 再建

(食べ物の通り道をつくりなおす)



ビルロートI法  
残った胃と十二指腸を吻合

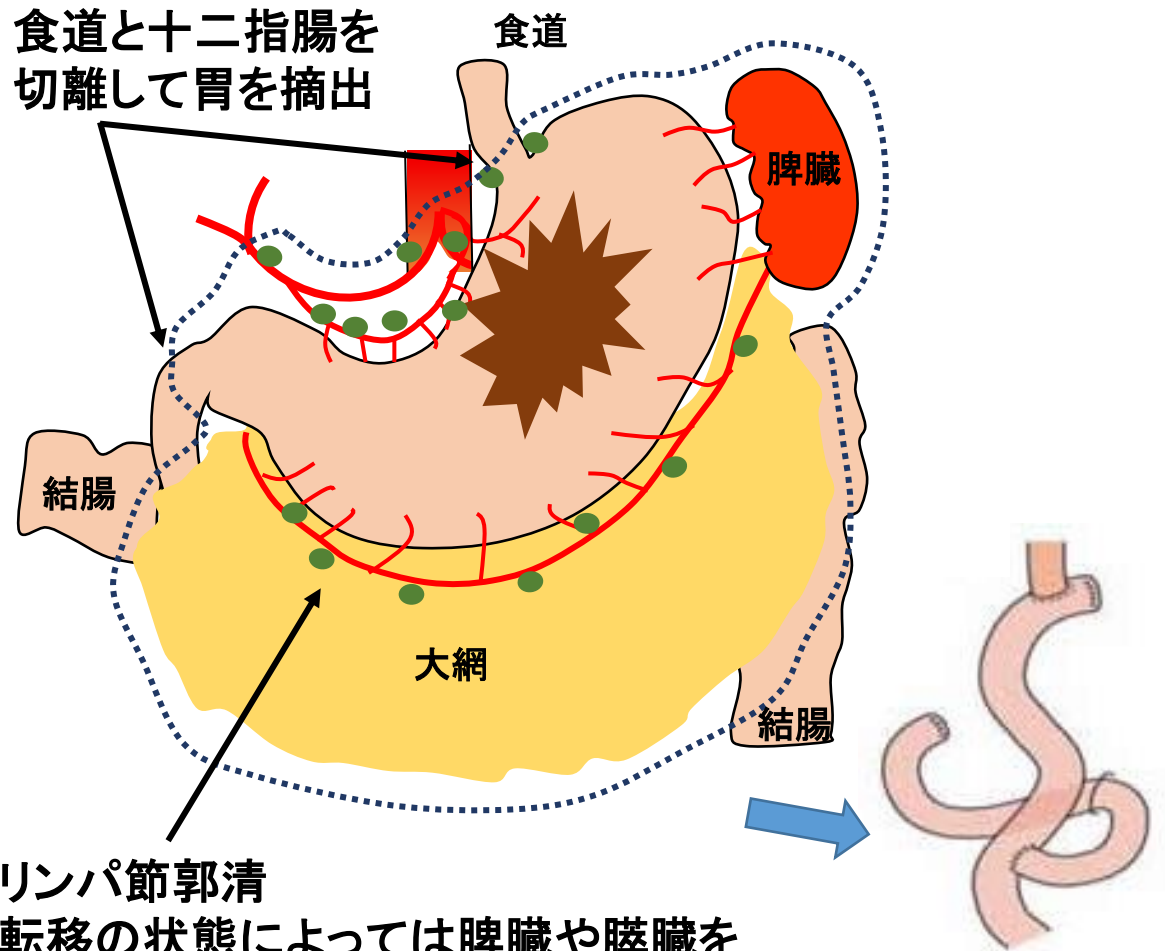
ルーワイ法  
小腸を切離して持ち上げ、  
残った胃と吻合

さらに  
もちあげた小腸の途中に  
十二指腸の出口をつなぐ

# 胃癌の手術：その他の術式

## 胃全摘：胃上部や胃全体に広がる癌

食道と十二指腸を切離して胃を摘出

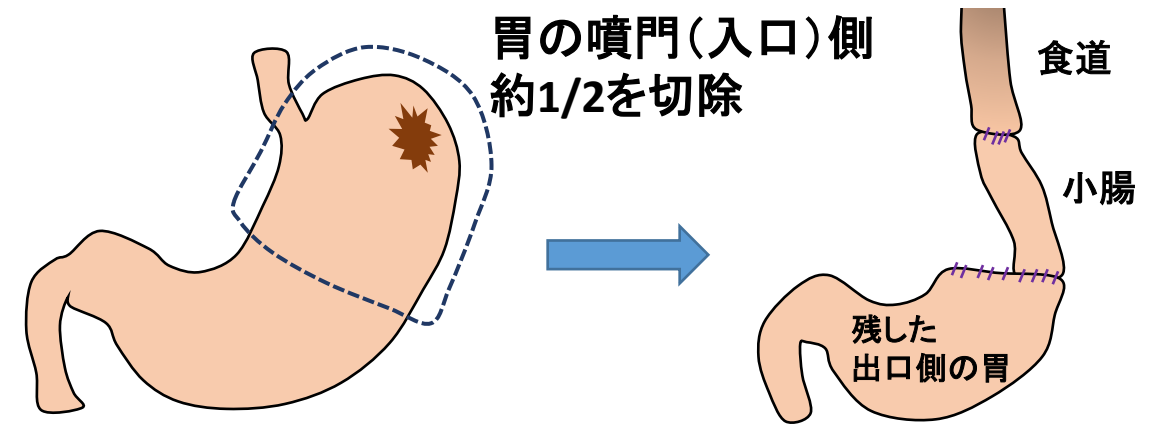


リンパ節郭清  
転移の状態によっては脾臓や膵臓を  
合併切除することもある

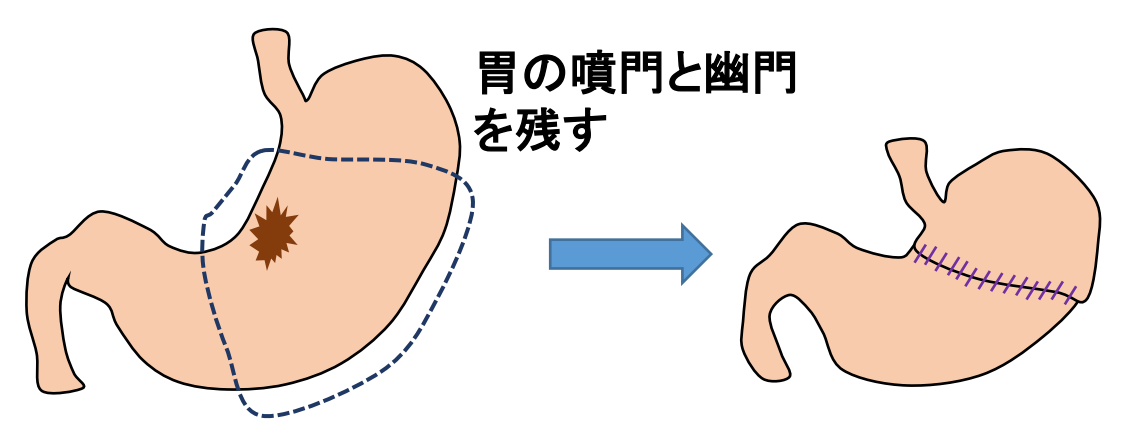
ルーワイ法による再建  
小腸を切離して持ち上げ  
食道と吻合

## 縮小手術

・噴門側胃切除：胃上部の早期癌



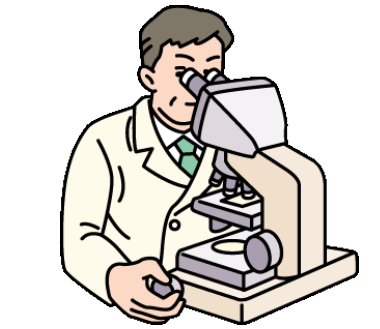
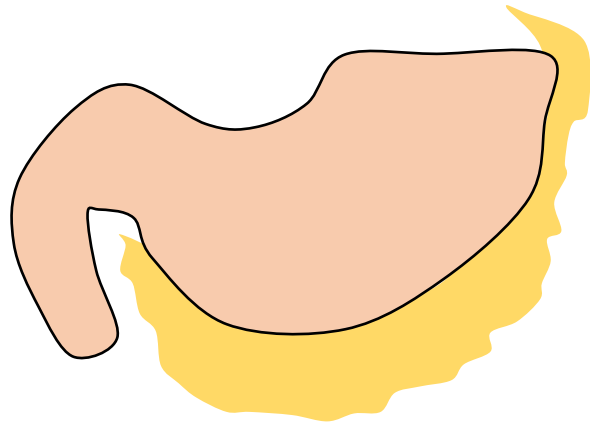
・幽門保存胃切除：胃中央部の早期癌



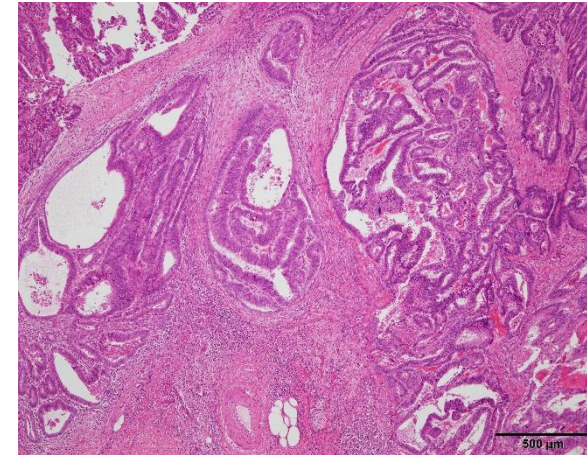


# 切除した臓器の病理検査を行う

摘出した臓器  
(胃、リンパ節など)



病理診断



深達度(病巣のふかさ)  
リンパ節転移の有無  
を専門の医師が判定



最終的なステージの診断

対策:少量ずつゆっくり、回数を増やして

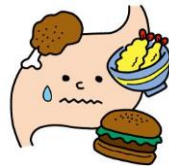


でなく

# 胃手術の影響

## 小胃症状

食事が少ししかとれない  
すぐに満腹になる



## 骨粗鬆症

カルシウム摂取不足  
や吸収障害による



## 貧血

鉄、ビタミンB12  
吸収障害による



## 胃の手術

胃全摘術

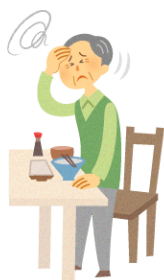


幽門側  
胃切除術



## ダンピング症候群

早期:冷や汗、動悸、腹痛など  
食物が急に腸に流れ込むことため  
後期:血糖値の変動



## イレウス(腸閉塞)

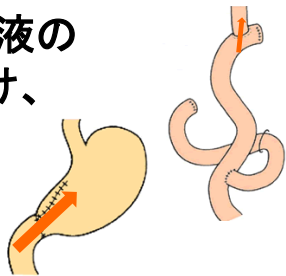
腸管の癒着  
による通過障害



小腸同士が癒着

## 残胃炎、逆流性食道炎

胆汁や膵液や腸液の  
逆流による胸やけ、  
痛み、せきなど



## 便通異常

胃貯留能低下、  
リンパ節郭清  
脂肪吸収障害による下痢  
腸蠕動低下による便秘



## 胆石症

手術操作による神経切除、  
消化管ホルモンバランスの  
変化による

